



Compass の窓から

進路講話を終えて

4/25(火)、3年生のみなさんに進路講話を行いました。進路部長として、少しでもみなさんの心に灯をともしることができればと思いお話をさせていただきました。感想の一部を紹介させていただきます。3年生のみなさんには、ずっと今の気持ちを忘れずに日々を過ごしてほしいと思います。

一番心に残ったのは「弱気は最大の敵」ということです。受験に向けて覚悟をもって勉強していきなと思いました。最近、私は朝に勉強するために始発で学校に来て勉強し、帰りは塾の自習室に行き勉強しています。始めてから一週間くらいしか経っていないので、覚悟をもってずっと続けられるようにがんばりたいです。そして模試では自分の実力を上げるために取り組んでいきたいです。感謝と謙虚な気持ちを忘れないように、受験を楽しめるように、がんばって自己を高めていきたいです。

今日の話聞いて、この1年本気で勉強をがんばろうと思うことができました。1番の理由は、将来本気で「幸せになりたい」と思ったからです。また、全力で私たちに信じ、愛してくれる先生方がいるということが先生の話からすごく感じました。全力でサポートしようとしてくれる人たちがいるからには、自分に負けてはいけないなと気持ちが入りました。この1年間、前向きで粘り強く最後まで闘い抜きたいです。焦らず目の前のことから進めていきます。

「弱気は最大の敵」という言葉がとても印象に残りました。理由は、3年生になって勉強が本格的に受験に向かっていくと同時に「どうせ私なんか」と思うことが増えてきていたからです。自分の周りもとても優れて見えて自己評価を下げてしまうことが多いけれど、受験を通して人間性を高められるメリットを感じてあきらめず、忍耐強く日々の努力を続けようと思いました。また仲間と共にはじめられるといいなと思いました。これから先、逃げたくなるときがあっても、その気持ちに負けず、つらい時こそ楽しいと思って、笑顔でがんばりたいです。

「受験は団体戦」だからこそ集団の雰囲気をよくする行動をとってお互いを高め合える関係を築きたいと思います。自分が気になる大学を積極的に調べ、コンパスを活用したり先生に相談したりして受験に積極的に前向きに挑戦したいです。覚悟をもって自分に厳しく、受験生という自覚をもって生活していこうと強く思うきっかけとなる講話でした。

今回の講話で自分が学んだことは、自分たちが勉強する理由は、大学に受かるためだけでなく、幸せな人生を送るためであって大学はあくまでも通過点でしかないこと、進路とは長期的なビジョンを必要とする「人生」であるということです。大学受験の話や、先輩の合格した大学を見て、今の自分の志望校に入るためには普通の勉強方法や勉強時間じゃ間に合わないことに気がきました。目標は今から1日10時間勉強できるように努力していきたいです。素晴らしいお話をありがとうございました。

「すべてのことは自分次第」という話を聞いて、正直自分のことを言われている気がして焦りました。最近では過去の自分と比べて勉強に取り組む姿勢が少なくなってしまったし、どこかでまだ大丈夫と思ってしまうと自分を甘やかしています。それもわかっているのに自分で制御できていないという状況です。でも「自分次第」「覚悟」「自分を信じる」「人のために」という言葉を聞いていたら自分を動かさないといけないなという気持ちが強くなりました。少しずつでもいいから、過去の自分に近づいて、追い越せるように毎日続けることを大切にしようと思いました。

これを知る者はこれを好む者に如かず

これを好む者はこれを楽しむ者に如かず

『論語』の一節にある言葉ですが、意味は

理解している人は知識があるけれど、それを好きな人にはかなわない。

それを好きな人も、それを楽しんでいる人にはかなわない。

ということです。

何事も「楽しむこと」が成長することにつながるのだと思います。

残りの高校生活も、思い切り楽しんでいきましょう。

みなさんの夢の実現に向けて、私たち教員一同、全力でサポートしたいと思います。

よろしく申し上げます。